

平成 27 年度
一般社団法人日本臨床心理士会臨床心理講座

**講座 NO. 43 精神分析・分析心理学からの統合的認知行動療法
-治療関係と臨床記憶心理学を中心に-**

講座の内容：医療現場を中心に認知行動療法（CBT）が求められる傾向にありますが、他のオリエンテーションを持つ臨床心理士から戸惑いの声も聞かれます。本来、CBT は精神分析的心理療法のアドバンストな技法として開発されたものです。しかし歴史の展開で別学派となったため今日の混乱に至っています。

この講座では事例とワークを通して脳認知科学に基づいた臨床記憶心理学モデル“心理療法のシフト&スポットライト仮説”から精神分析と不安・抑うつ認知行動療法の統合、そして分析心理学とマインドフルネス心理療法の統合、の実際を CBT における治療関係への配慮とともにご紹介します。

ご自身の心理療法および CBT に深みを加えたい方だけでなく、CBT や心理療法の初学者にもわかりやすく解説します。職域や対象者の年齢は問いません。

講師：杉山 崇（ 神奈川大学 ）

日時：平成 28 年 3 月 6 日（日） 10：30～16：30

場所：文京区本郷 2-27-8 太陽館ビル 202 号室（財）日本心理研修センター研修室

参加資格：臨床心理士・大学院生 定員 50 名

参加費：社）日本臨床心理士会会員および大学院生 6,000 円
その他 7,000 円

ポイント：2

申し込み方法：日本臨床心理士会 WEB ページからお申込みください。